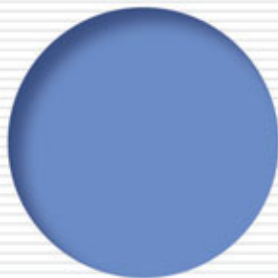


# BUSINESS REPORT



## FUJI ビジネスレポート

第45期第2四半期累計期間  
平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



株式会社 藤商事



JASDAQ  
(証券コード 6257)



# I aru idea.

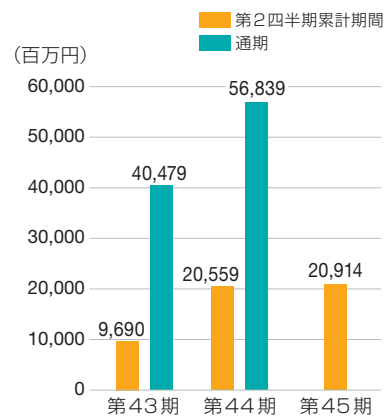


ここに、愛があるアイデアがある。

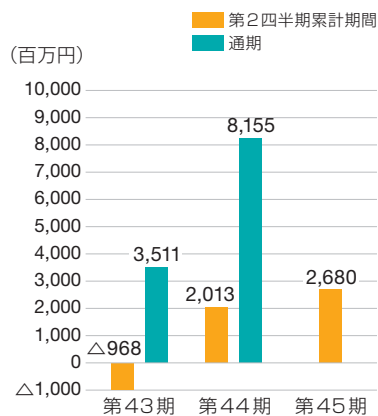
夢見る人に次々と。  
ヒト味違う“オモシロ”さ!



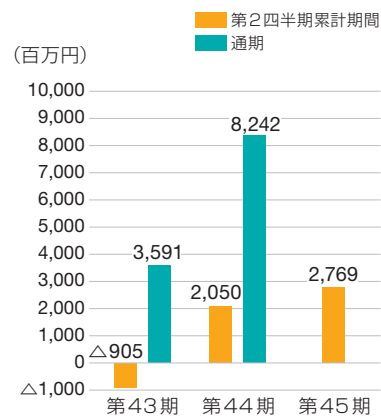
■売上高



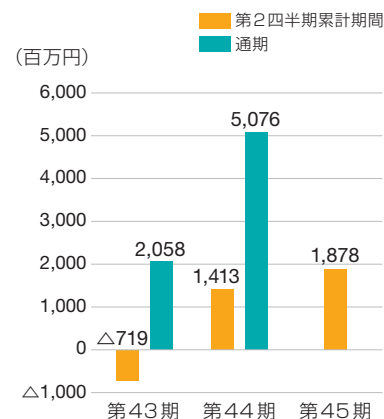
■営業利益



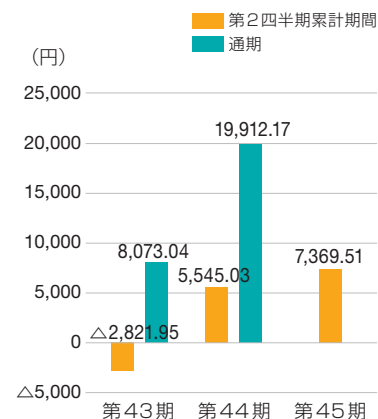
■経常利益



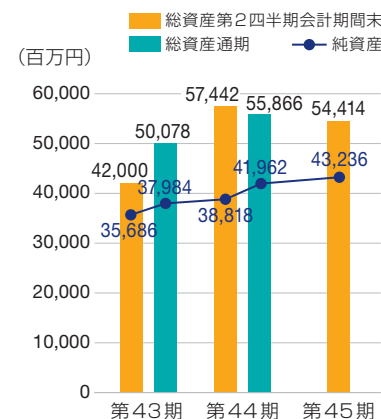
■四半期(当期)純利益



■1株当たり四半期(当期)純利益



■総資産/純資産



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

ここに第45期第2四半期累計期間ビジネスレポートをお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計期間のパチンコ・パチスロ業界におきましては、パチンコ遊技機では手軽に安く遊べるタイプの遊技機の充実や、低貸玉営業の全国的な定着などにより、パチンコがより身近なレジャーとして再認識されつつあります。一方、パチスロ遊技機では稼働状況が依然として低迷しており、新たなファンの獲得が、業界全体にとっての大きな課題となっています。

このような状況の中、当社は、コーポレートスローガン「ヒト味違う「オモシロ」さ!」を道しるべに、ゲーム性の向上や、魅力的な著作権とのタイアップ戦略を推進し、商品性の高い遊技機の開発に努めてきました。そして、年齢・性別・嗜好など、ターゲットを的確に捉えながら、幅広いジャンルの新機種を市場に投入しています。

こうした活動により、販売台数は、前年同期を上回り、売上・利益のいずれも堅調に推移しました。

私たちはこれからも、ホール様・ファンの皆様の視点をもって、当社の企業理念であります「お客様の繁栄を売ろう」を実践し、長く愛されるヒット機種の創出に挑戦し続けます。

株主の皆様には今後ともご指導・ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長  
松元 邦夫



## 社長インタビュー

### Q1 当期の重点施策に対する進捗状況をお聞かせください。

A1

当社は今、上位メーカーグループへの参入を目指し、3つの重点施策を打ち出しています。

まず1つ目は、「安心してお客様に導入いただける品質ブランドの確立」です。これは、快適な遊技をもたらす機能性はもちろんのこと、長期間の稼働を可能にする耐久性を備えた遊技機づくりを目標としており、私たちの永続的なテーマとなっています。それを具体化するために、部品メーカー様と一体で「品質報告会」を定期的で開催し、不良品を出さない仕組みの整備を進めてきました。そして、開発段階での設計検証の徹底とともに、市場へ不良品を出さない独自の生産プロセスを構築するなど、さまざまな側面から不良率の低減に努めています。計画(PLAN)、実行(DO)、評価(CHECK)、改善(ACTION)のサイクルを回しながら、高品質を追求することで、お客様との信頼関係をさらに深めていきたいと思っております。

2つ目に掲げた「“ヒト味違う”発想による商品力の向上」を実現するためには、時代のニーズと斬新なアイデアを両立していくことが重要と考えます。そこで開発したのが、ドット表示器を搭載した「CRレーザーシャトル」です。新鮮味のある演出が幅広いファンの皆様から受け入れられ、販売も順調に推移しました。また、女性ロック歌手・相川七瀬さんを起用した「CR相川七瀬 時空の翼」では、「トランスシステム」という新しい機能を採用し、ヒットソングを生かした演出と、爽快な出玉感により、下半期にかけても

販売を継続しました。その他にも、ターゲット層を見据えて、「CR桃太郎侍 天に代わって鬼退治致す!」「CRサンダーバード 国際救助隊発進!」といった新機種を創出しました。商品性の高い遊技機をタイムリーに投入できたことが、売上高の増加につながったと確信しています。

3つ目の「業績計画の着実な達成」に関してですが、開発スケジュールの管理強化や、部材調達・生産面における利益改善活動を推進し、持続的な成長を力強く後押ししています。

### 当期の重点施策に対する進捗状況

#### ① 安心してお客様に導入いただける品質ブランドの確立

○機能性・耐久性を満たす商品の開発

#### ② “ヒト味違う”発想による商品力の向上

○新鮮味のある演出の開発  
・「CRレーザーシャトル」

○新たなゲームシステムの開発  
・「CR相川七瀬 時空の翼」

#### ③ 業績計画の着実な達成

○開発スケジュールの管理強化  
・販売ラインナップの充実

○部材調達・生産面における利益改善活動  
・液晶などのリユース効果

### 当第2四半期累計期間の発売ラインナップ

パチンコ遊技機

4月 「CRレーザーシャトル」

5月 「CRサンダーバード 国際救助隊発進!」

7月 「CR桃太郎侍 天に代わって鬼退治致す!」

9月 「CR相川七瀬 時空の翼」

パチスロ遊技機

5月 「COBRA -THE SLOT-」

### Q2 新たなファンの獲得に向けて、下半期はどのような展開をお考えですか。

A2

パチンコ遊技機においては、他メーカーからも複数の注目機種の投入が見込まれます。当社は、アメリカの人気アクション映画をモチーフにした「CRダイ・ハード」を9月中旬から販売活動を展開しました。現在は、有力シリーズ機種を中心に、入れ替えニーズにマッチしたタイミングで投入できるよう、鋭意準備を進めているところです。

パチスロ遊技機につきましては、「COBRA-THE SLOT-」に続き、「パチスロ エイリアンVSプレデター」を発売し、全国各地のホール様に10月下旬から納品を開始しています。今後も、ファンの皆様が「面白い・楽しい・何度打っても

飽きない」と感じるヒット機種の創出に向けて、研究開発への投資を積極的に推進していく考えです。そして、テレビCMを中心とした多彩な販売戦略にも力を注ぎ、新たなファンの獲得に結びつけていきます。

### Q3 最後に、株主還元に対する基本的な考え方を教えてください。

A3

当社は、企業価値の向上とともに、株主の皆様には適正な利益還元を図ることを経営の重要課題と位置づけています。そのため、配当につきましては、継続した配当を基本方針としつつ、経営成績および配当性向などを総合的に勘案し、実施してまいります。

今後とも株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# SEVEN GIMMICK

ゲリラ・ライブのように突如始動する、7ギミックに刮目せよ！

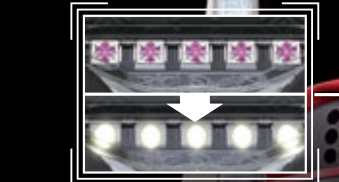
GIMMICK1  
ロザリオ



サイクロンフェザー  
フラッシュ予告  
両者が連動すれば  
超強力予告の発動だ！

GIMMICK2  
クリスタルウイング

GIMMICK3  
ハイパー スポットライト



GIMMICK4  
プリズムビジョン



GIMMICK5  
スピーカー



GIMMICK6  
ダイレクトアタッカー



GIMMICK7  
チャージアップ



# CR 相川七瀬

時空の翼  
AIKAWA NANASE © Fountain  
—新機種展示発表会—

東京・大阪にてライブイベントを開催!!

2009年 8月25日(火)東京:東京ドームシティ MEETS PORT JCBホール、  
8月27日(木)大阪:Zepp大阪のライブホールにて  
CR相川七瀬 新機種展示発表会を開催いたしました。ホール・プレス・メディア・一般招待者様  
合わせて2000人以上(東京と大阪の総動員数)を動員し、  
相川七瀬さんのプレミアムライブの反響もあり大成功を取めました。



終わりのないライブ、始まる。

## 経営成績に関する分析

### 第2四半期累計期間の経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、様々な経済政策などにより個人消費は一部持ち直しの動きが見られたものの、企業収益は減少を続けており、雇用情勢も一段と悪化するなど、依然として厳しい状況が続いております。

パチンコホール業界におきましては、近年、パチンコ参加人口の減少傾向が継続しておりましたが、平成20年のパチンコ参加人口は前年比130万人増加の1,580万人((財)日本生産性本部「レジャー白書2009」)となりました。パチンコ遊技機では手軽に安く遊べるタイプの遊技機の充実や、低貸玉営業の全国的な定着など、遊技機のタイプや営業形態の多様化などを通じて、パチンコがより身近なレジャーとして再認識されたことなどから、参加人口を押し上げる結果となりました。

また、集客力の維持を図るうえで話題性の高いパチンコ遊技機に絞り込んで導入するなど、パチンコの営業を強化する動きが継続したことや、昨年度のような遊技機の入替自粛期間がなかったことなどから、前年同期に比べパチンコ遊技機市場全体の販売台数は増加いたしました。

一方、パチスロ遊技機の稼働は依然として低迷しており、新台入替につきましても比較的小規模なものにとどまったことから、パチスロ遊技機市場全体の販売台数は低調に推移いたしました。

このような状況のもと当社は、パチンコ遊技機では、ドット表示器を搭載した機種や、多彩なジャンルから採用した魅力的な著作権とのタイアップ機種に加え、斬新なゲーム性を備えた機種など、多様化するファンのニーズにマッ

チした「ヒト味違う」遊技機4機種、パチスロ遊技機1機種をタイムリーに市場投入することで販売台数の確保に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高209億14百万円(対前年同期比1.7%増)、営業利益26億80百万円(同33.1%増)、経常利益27億69百万円(同35.1%増)、四半期純利益18億78百万円(同32.9%増)となりました。

事業の部門別の状況は、次のとおりであります。

#### ■パチンコ遊技機事業

パチンコ遊技機事業につきましては、当社オリジナル機種「CRレーザーシャトル」シリーズ(平成21年4月発売)、巨大可動役物を搭載した「CRサンダーバード 国際救助隊発進!」シリーズ(平成21年5月発売)を市場投入いたしました。続いて、撮り下ろし映像やTV映像を贅沢に使用し、液晶画面に落下する般若面役物による演出が好評を得た「CR桃太郎侍 天に代わって鬼退治致す!」シリーズ(平成21年7月発売)、女性ロック歌手相川七瀬さんのヒットソングと、爽快な出玉感が話題の「CR相川七瀬 時空の翼」シリーズ(平成21年9月発売)を市場投入いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の販売は概ね順調に推移し、販売台数は77千台(対前年同期比5.3%増)、売上高は206億63百万円(同0.5%増)となりました。

#### ■パチスロ遊技機事業

パチスロ遊技機事業につきましては、SFアクション漫画とのタイアップ機種「COBRA -THE SLOT-」(平成21年5

月発売)を市場投入いたしました。販売台数は低調に推移し、売上高2億50百万円(前年同期は売上高6百万円)となりました。

### 通期の見通し

当第3・第4四半期のパチンコホール業界につきましては、国内の景気低迷が継続していることなどから、個人消費の伸び悩みやレジャーへの支出抑制などの影響により、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われま

す。当社といたしましては、より多くのファンの皆様にパチンコ・パチスロを楽しんでいただくとともに、遊技機市場の活性化にも貢献できますよう、多種多様で豊かなゲーム性を備えた遊技機を提供してまいりたいと考えております。

当第3四半期のパチンコ遊技機につきましては、9月下旬から納品を開始しました「CR相川七瀬 時空の翼」を10月にかけて継続販売したほか、「CRダイ・ハード」の

販売活動を展開いたしました。一方、パチスロ遊技機につきましては、「パチスロ エイリアンVSブレダター」の販売を開始いたしました。

また、現在、パチンコ遊技機におきましては、平成22年1月上旬からの納品開始に向け、新筐体「クリスタルファイヤー」第1弾、「CR新暴れん坊将軍 吉宗危機一髪!」の販売活動を鋭意推進しております。

今後の新機種につきましても、さまざまなジャンルからの著作権採用と趣向を凝らしたゲーム性の実現により、長期稼働を重視した商品ラインナップを予定しております。

ファンの皆様に心から楽しんでいただけるような、「ヒト味違う」魅力的な機種を、効果的なタイミングで市場投入することにより、販売台数の確保に努めてまいります。

パチスロ遊技機につきましては、依然として厳しい市場環境が続いておりますが、より商品性を高めた機種を発売してまいります。

なお、平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月13日発表の業績予想に変更はございません。

#### 業界データ



出所：警察庁(店舗軒数)・財団法人日本生産性本部「レジャー白書」(参加人口・貸玉料)

■ 四半期貸借対照表

単位：百万円

科目	当第2四半期 会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)	科目	当第2四半期 会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>			<b>流動負債</b>		
現金及び預金	23,226	26,190	買掛金	6,541	6,978
受取手形及び売掛金	6,709	6,943	未払法人税等	979	2,785
有価証券	2,104	2,101	未払消費税等	—	389
商品及び製品	492	123	賞与引当金	474	460
原材料及び貯蔵品	3,970	3,546	役員賞与引当金	—	180
前渡金	1,776	1,301	その他	1,752	1,718
繰延税金資産	758	714	<b>流動負債合計</b>	<b>9,747</b>	<b>12,512</b>
その他	299	424	<b>固定負債</b>		
貸倒引当金	△38	△40	退職給付引当金	663	623
<b>流動資産合計</b>	<b>39,299</b>	<b>41,307</b>	その他	767	768
<b>固定資産</b>			<b>固定負債合計</b>	<b>1,430</b>	<b>1,391</b>
<b>有形固定資産</b>			<b>負債合計</b>	<b>11,178</b>	<b>13,903</b>
建物（純額）	2,433	2,499			
機械及び装置（純額）	946	1,120	<b>純資産の部</b>		
工具、器具及び備品（純額）	1,488	1,317	<b>株主資本</b>		
土地	4,363	4,363	資本金	3,281	3,281
その他（純額）	141	116	資本剰余金	3,258	3,258
<b>有形固定資産合計</b>	<b>9,374</b>	<b>9,417</b>	利益剰余金	36,668	35,426
<b>無形固定資産</b>	<b>176</b>	<b>188</b>	<b>株主資本合計</b>	<b>43,208</b>	<b>41,966</b>
<b>投資その他の資産</b>			<b>評価・換算差額等</b>		
長期前払費用	2,862	2,571	その他有価証券評価差額金	28	△3
その他	2,719	2,408	<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>28</b>	<b>△3</b>
貸倒引当金	△18	△26	<b>純資産合計</b>	<b>43,236</b>	<b>41,962</b>
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>5,563</b>	<b>4,952</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>54,414</b>	<b>55,866</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>15,114</b>	<b>14,559</b>			
<b>資産合計</b>	<b>54,414</b>	<b>55,866</b>			

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期損益計算書（第2四半期累計期間） 単位：百万円

科目	前第2四半期 累計期間 (H20.4.1～H20.9.30)	当第2四半期 累計期間 (H21.4.1～H21.9.30)
<b>売上高</b>	<b>20,559</b>	<b>20,914</b>
売上原価	11,707	11,135
<b>売上総利益</b>	<b>8,851</b>	<b>9,778</b>
販売費及び一般管理費	6,838	7,098
<b>営業利益</b>	<b>2,013</b>	<b>2,680</b>
<b>営業外収益</b>		
受取賃貸料	41	40
利用分量配当金	9	14
受取ロイヤリティー	—	41
その他	26	31
<b>営業外収益合計</b>	<b>78</b>	<b>127</b>
<b>営業外費用</b>		
シンジケートローン手数料	24	17
賃貸収入原価	13	11
その他	2	8
<b>営業外費用合計</b>	<b>40</b>	<b>38</b>
<b>経常利益</b>	<b>2,050</b>	<b>2,769</b>
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	1	—
貸倒引当金戻入額	16	13
<b>特別利益合計</b>	<b>17</b>	<b>13</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	8	11
<b>特別損失合計</b>	<b>8</b>	<b>11</b>
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>2,059</b>	<b>2,770</b>
法人税、住民税及び事業税	758	958
法人税等調整額	△113	△66
<b>法人税等合計</b>	<b>645</b>	<b>892</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>1,413</b>	<b>1,878</b>

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書 単位：百万円

科目	前第2四半期 累計期間 (H20.4.1～H20.9.30)	当第2四半期 累計期間 (H21.4.1～H21.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,991	△817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,345	△1,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△572	△636
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△926	△2,964
現金及び現金同等物の期首残高	21,303	26,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,376	23,226

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

藤商事IRサイトのご紹介

当社ホームページで、ビジネスレポートのほか各種財務資料がご覧いただけます。



<http://www.fujimaru.co.jp/ir/index.html>

## 会社概要

設立 昭和41年10月1日  
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号  
 従業員数 376名  
 事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の開発、製造、販売

## 役員

代表取締役社長 松元邦夫  
 取締役副社長 松元正夫  
 専務取締役 井上孝司  
 常務取締役 永田和政  
 取締役 松元恵子  
 取締役 辻田隆  
 社外取締役 坪本浩一郎  
 社外取締役 川添嗣夫  
 常勤監査役 近藤邦博  
 常勤監査役 川西耕司  
 社外監査役 堀弘二

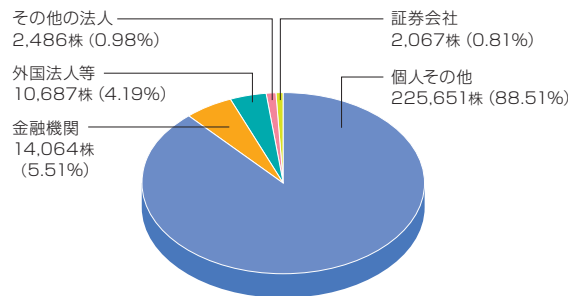
## 事業所

名古屋事業所 (名古屋工場および開発部)  
 東京開発事業所  
 東京支店 横浜営業所 広島営業所  
 大阪支店 八王子営業所 高松営業所  
 札幌営業所 静岡営業所 福岡営業所  
 青森営業所 名古屋営業所 熊本営業所  
 仙台営業所 金沢営業所 鹿児島営業所  
 千葉営業所 京都営業所  
 埼玉営業所 神戸営業所

## 株式の状況

- 1) 発行可能株式総数 800,000株
- 2) 発行済株式の総数 254,955株
- 3) 株主数 6,410名

### 所有者別株主分布



### 4) 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
松元 邦夫	95,560	37.48
松元 正夫	65,626	25.74
釣谷 香揚子	24,280	9.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,483	2.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,950	1.55
吉田 嘉明	3,140	1.23
藤商事従業員持株会	2,828	1.11
松元 恵子	2,600	1.02
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,314	0.52
日本証券金融株式会社	1,248	0.49

## トピックス

### ■ 社会貢献活動への取り組み

藤商事では、良き企業市民として地域社会との良好な関係を築くため、積極的に社会貢献活動に取り組んでまいります。

#### ● ビーチクリーンアップ in SUMAに参加

平成21年4月・9月に実施されました「ビーチクリーンアップ in SUMA(クリーンアップ関西事務局主催)」に参加し、兵庫県須磨海水浴場周辺の清掃活動を行いました。



#### ● 環境保全活動への参加

平成21年4月に開催されました回胴遊商(回胴式遊技機商業協同組合)主催の森林保全活動に参加し、昨年植樹した「回胴の森(大阪府豊野町)」と周辺の保全作業を行いました。

## ホームページ紹介

藤商事のホームページでは、皆様楽しんで頂けるよう、様々な情報をご提供しています。



ホール様専用サイトでは、支援活動の一環としてPOP素材提供などを行っています。



携帯メディアを使った情報サービスも行っていきます。

藤商事公式携帯サイトでは、多彩なコンテンツを公開中!!

### CONTENTS

・アプリ ・着うた ・待受画像 ・待受アプリ  
 ・着メロ ・着ボイス ・動画 ・待受フラッシュ

[iメニュー](#)
[トップメニュー](#)
[メニューリスト](#)

[メニュー/検索](#)
[カテゴリで探す](#)
[ケータイゲーム](#)

[趣味/娯楽](#)
[懸賞・くじ・キャンペーン](#)

[パチンコ/パチスロ](#)
[パチンコ/パチスロ](#)
[パチンコ・パチスロ](#)

- 「i-mode」及び「i-モード」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 「EZweb」はKDDI株式会社の登録商標です。
- 「Yahoo! ケータイ」及び「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

月額 **315**円(税込)

## 株主メモ

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-176-417

ホームページ <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

# BUSINESS REPORT

